



2025岡山県立西大寺高等学校グランド・デザイン

西高でつかむ、未来への鍵

～自己肯定感を高め、目標に向かって主体的に学ぶ生徒の育成～

ミッション

幅広い知識と教養を培う複数学科を有する高校として、多様な進路希望に応えるとともに、地域等との連携や社会貢献活動等の様々な体験活動や国際交流を推進する教育活動を通して、地域社会や国際社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

生徒の様子

- 素直で誠実であり、基本的な社会常識を持つ生徒が多い
- 学校行事や部活動・生徒会活動に積極的に参加し活動する生徒が多い
- 自己肯定感や学習習慣、進路選択において課題がある
- 総合的な支援を必要とする生徒が一定数いる
- 全員が Chromebook を所有している

内外の環境分析

- 119年の伝統校として地域・保護者からの信頼と期待がある
- 交通の利便性がよく、岡山市全域及び東備地域から通学する生徒が多い
- 地域の教育資源が豊富であり、地域ボランティアに参加し活動している
- 周辺中学校の卒業生の成績上位者が、市内中心部、私学へ流出している
- ICT機器やWi-Fi環境が整備されている

『生きる力を資質・能力として具現化するための3つの柱』
①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力など ③学びに向かう力・人間性など

学校教育目標

『知性:学力向上』 知性を高め、教養豊かな品位ある人格を希求する
『自律:地域連携』 自らを律し、協調性のある視野の広い国際人を目標とする
『健康:心育』 心身を鍛え、人間性に富む明朗有為な社会人を志向する

※「：**」の標記は重点目標との関連がわかりやすくするためのもの

Graduation Policy 育てたい 生徒像

- 明確な進路意識・課題意識を持ち、将来の目標達成・課題解決に向かって果敢にチャレンジする生徒
- あらゆる状況や社会の変化に対応できる確かな学力を身につけた生徒
- 社会貢献活動など様々な体験活動や地域との交流を通して、豊かな人間性を身につけた生徒
- 郷土岡山や日本の歴史・文化を理解するとともに、海外短期留学等を通じて国際感覚とコミュニケーション能力を兼ね備えた生徒

Admission Policy 入学希望者に 求める生徒像

- 【全科共通】絶えず学力向上に努め、生徒会活動、部活動、学級活動等に主体的に取り組み、学校生活をより充実させようとする意欲を持つ生徒
- 【普通科】学びを深めながら、柔軟な思考力と創造力を身に付け、自ら課題を解決していく意欲を持つ生徒
- 【国際情報科】英語・情報科の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ生徒
- 【商業科】ビジネス活動に関する専門的な学習を深め、関連する資格を取得し、社会貢献できる人材に自ら成長しようとする意欲を持つ生徒

Curriculum Policy

P 何ができるようになるか

- 明確な進路意識・課題意識を持ち、将来の目標達成・課題解決に向かって果敢にチャレンジする
- あらゆる状況に対応できる確かな学力を身につける
- 社会貢献活動など様々な体験活動や地域との交流を通して、豊かな人間性を身につける
- 郷土岡山や日本の歴史・文化を理解し、海外短期留学等を通じて国際感覚とコミュニケーション能力を兼ね備える

D 何を学ぶか [教育課程の編成等]

- 『健康:心育』
物理的・精神的環境を整え、心身の健全な成長を支援する特別活動等を通して自己調整力や協力する力等を育む
- 『知性:学力向上』
主体的・対話的で深い学びの実現を核とした授業改善と教科横断的な教育課程の充実を通して課題発見力等を育む
- 『自律:地域連携』
地域の人的・物的資源を活用しながら、総合的な探究の時間等の実践活動の充実を図り、体系的なキャリア教育を通して課題解決力や発信力、自律的活動力等を育む

D どのように学ぶか [教育課程の実施等]

- 『健康:心育』：マインド
・心の健康観察アプリ(シャボテン)等による支援
・生徒会・各種委員会活動
- 『知性:学力向上』：スキル
・個に応じた適時適量の課題提供や家庭学習
・1人1台端末の活用やPBL学習(パフォーマンス課題)
- 『自律:地域連携』：アクション
・校内外でチャレンジ(資格試験、部活動、各種コンテスト、社会貢献活動等)
・進路を意識し「総合的な探究の時間」を通じた校外学習と外部講師招聘等による体系的なキャリア教育や国際交流

C 何が身に付いたか

- 課題を発見し、主体的にその解決策を考察することができる。(課題発見力)
- 課題や目標に対して、その実現に向けて進める過程において自ら振り返り、調整を行うことができる。(自己調整力)
- 他者の意見に耳を傾け対話を重ねることを通して、自分の役割をしっかりと果たすことができる。(協力する力)
- 具体的な計画を立てながら主体的に取り組むことができる。(課題解決力)
- 自分の考えや思いに、理由や根拠を整理し表現を工夫して相手にわかりやすく伝えることができる。(発信力)
- 自分の適性や進むべき方向性を見いだし、進路実現に必要な能力や技能の習得に努めている。(自律的活動力)

実施するために何が必要か

[指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力]

- 持続可能な教育活動の構築
- 業務の効率化による学校の働き方改革の推進
- 地域社会との協働活動を支える伴走者の拡大
- 各科の特長を生かした三科連携の取組
- 現行カリキュラムの検証と整備(カリキュラム・マネジメント)
- 海外研修プログラムとオンライン国際交流の充実
- 戦略的広報の強化(中学校が求める進路情報を把握、SNS配信等)
- 系統立てた進路指導体制の再構築

生徒にどのように支援するか

[どのような配慮が必要か]

- 多様な生徒に対する個に応じた支援(ケース会議、SC・SSWとの連携)
- わかる授業実践(ICT活用・イクルーズ教育・個別最適な学び・協働的な学び)
- 情報活用能力向上のためのDXハイスクール事業の導入
- 西高スタンダード5カ条実施とリフレクションシートの活用
- 学年会議や運営委員会、職員会議等での全教職員の協働体制と情報共有
- 主体性の伸長(生徒の企画・運営による安全・安心な学校行事や委員会活動)
- 非認知能力向上のためのEdu Path(測定ツール)活用

